

バルコニー用床化粧材

RIENA 施工手順
[リエナ]

この度は、セキスイのバルコニー用床化粧材「RIENA（リエナ）」の設置を
ご検討いただき、誠にありがとうございます。
こちらはタイルを設置するための手順の説明書となります。
ご自宅での施工前にご一読ください。

バルコニータイル 積算編

タイルの必要枚数の割り出し方

①バルコニーを採寸する

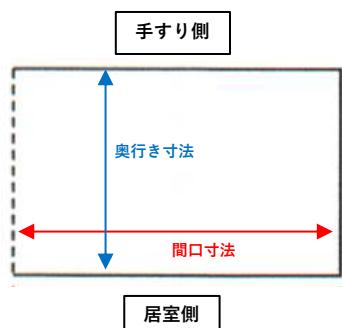
リエナの必要枚数を算出するために、
メジャーで間口と奥行きの採寸を行います。

タイルの配置をしやすくするために
下記の採寸例を参考に「基準線（点線）」を
設定してから、採寸してください。

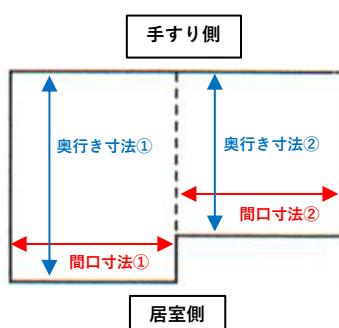
排水溝や雨戸の戸袋、雨桶の落とし口、柱など
障害物についても位置の確認と寸法測定を行います。



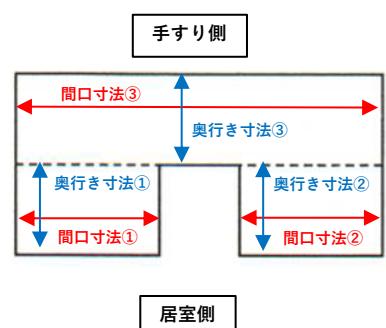
【採寸例 1】



【採寸例 2】



【採寸例 3】



②タイルの枚数を算出する

間口と奥行き寸法の2辺からバルコニータイル（1枚は303×303mm）の必要枚数を算出してください。303mmより小さな端部や障害物のある部分は、リエナネット（1枚は303×303mm）ですき間を埋めて仕上げます。

◎タイルの必要枚数の調べ方

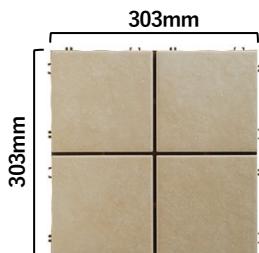


◎間口が3650mm、奥行きが1550mmの場合

間口… $3650\text{mm} \div 300\text{mm} = 12\text{枚}$
奥行き… $1550\text{mm} \div 300\text{mm} = 5\text{枚}$

必要なタイルは **12×5=60枚** となります。

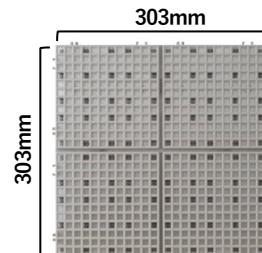
◎リエナ本体



[カラー展開]

- ・アイボリー
- ・ライトグレー
- ・ブルーグリーン
- ・ライトイエロー
- ・ライトブラウン

◎リエナネット（幅調整材）



[カラー展開]

- ・ニュートラルグレーライト
- ・イエローベージュ
- ・ストーンホワイト

リエナはどのカラーも 303×303mm で統一されています。



バルコニータイルや調整材の必要枚数を割り出せる
便利なツールもご用意しています。ぜひご利用ください。

バルコニータイル 施工編

バルコニータイル施工の大まかな流れ

1. 必要な道具を準備しよう

5. 端部や障害物のまわりの納め方

2. 施工前にバルコニーを清掃

6. 耐風対策について

3. 仮置きで仕上がりをイメージ

7. 端部カバー材の納め方

4. タイルを連結していくう

8. 残材の清掃と点検

1. 必要な道具を準備しよう

施工の前に、以下の工具をご用意してください。

- ◎メジャー
- ◎大型カッター（ネジ固定式）
- ◎プラニッパー
- ◎ゴムハンマー



2. 施工前にバルコニーを清掃

バルコニーの防水面の保護、
施工後のタイルの凹凸防止のため、
必ずバルコニー床面のゴミや
土埃などを取り除いてください。



3. 仮置きで仕上がりをイメージ

連結する前に仮置きして、仕上がりを
イメージしておくと失敗がありません。



4. タイルを連結していくう

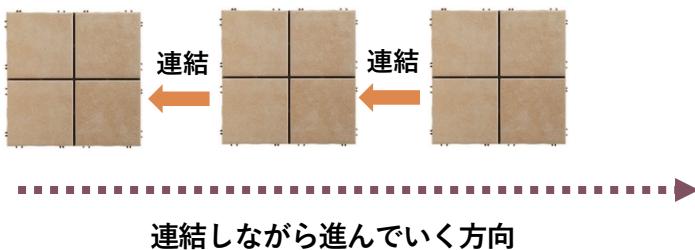
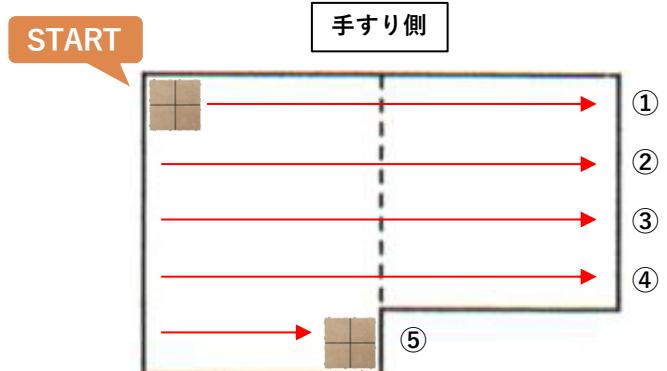
仮置きで仕上がりのイメージができたら、
タイルを実際に連結していきます。



①設置のスタート地点と方向について

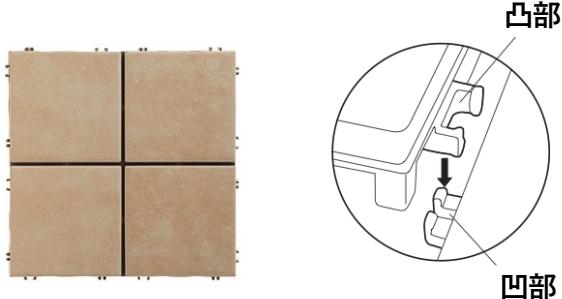
タイルを設置するスタート地点は、
図のように手すり側の出隅位置に
設定すると簡単に施工できます。

スタート地点のコーナーに沿って、
タイルの連結部が無い部分を合わせて、
同じ向きで手すりに沿って
①～⑤の順番で連結していきます。

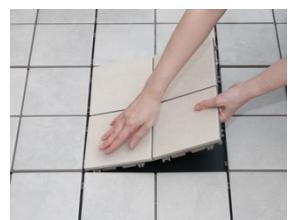


②連結の仕方

タイルを連結する際は、凸部と凹部の連結部を
重ね合わせて、下方向に「パチン」と音がするまで
押し込んでください。



リエナはタイルの四辺どこからでも連結できる
上下連結構造なので、タイルの向きを気にせず、
凹凸どちらを押し込んでも施工できます。

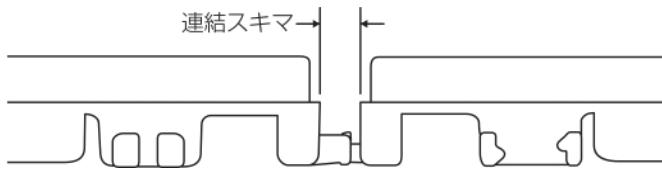


③スキマの調整（熱伸縮対応）

■タイル同士のスキマ

タイルを連結するときは、連結部を詰めすぎず、右図のようにスキマを開けるようにしてください。

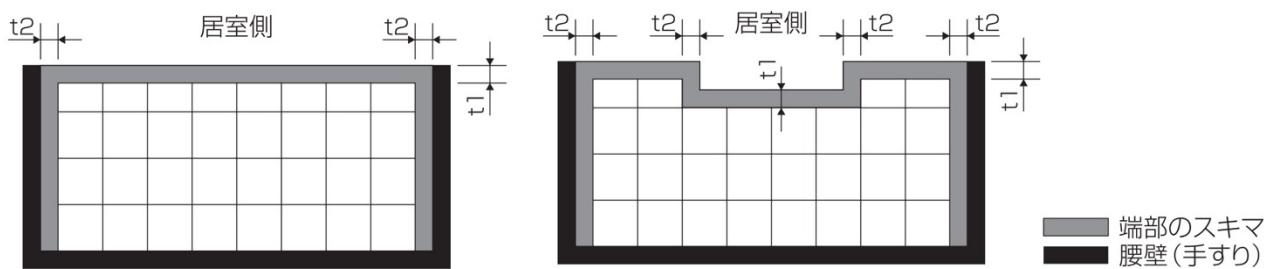
スキマがないとプラスチックの枠が気温の変化で伸縮し、バルコニー タイルが盛り上ることがあります。



冬場（気温10°C未満）では
連結スキマを完全に開けてください。

■端部のスキマ

バルコニーの周囲の端部には、下図のように大きめのスキマを開けてください。
片側にすき間を取る場合に6mm、両側でとる場合は3mm必要です。



◎片側に周囲のスキマを取る場合 —— t1 : 敷設方向 1mあたり 6 mm

◎両側に周囲のスキマを取る場合 —— t2 : 敷設方向 1mあたり 3 mm

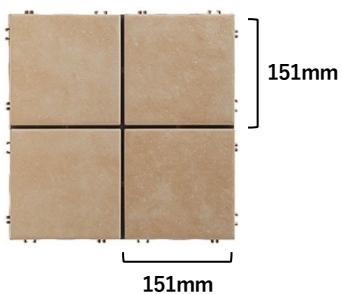
5. 端部や障害物まわりの納め方

端部のすき間や排水パイプ、避難ハッチなど
障害物の周囲は、リエナネット（幅調整材）を
スキマに合わせて切断してはめ込むと美しく
仕上ります。

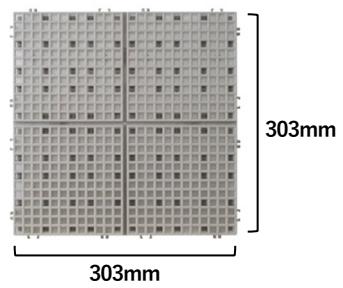


①端部の納めとリエナネット（幅調整材）の使い方

151mmを超える大きなスキマは、目地に沿ってカッターで
タイルを半分に切断して納めます。



さらに余った小さなスキマはリエナネットをカッターや
はさみで切断して、スキマを埋めてください。



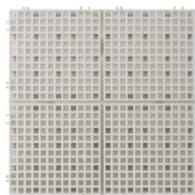
◎リエナ（タイル）とリエナネット（幅調整材）の推奨組み合わせ



ニュートラルグレーライト [NGL]



イエローベージュ [YB]



ストーンホワイト [SW]



[IV] アイボリー



[LG] ライトグレー



[BG] ブルーグリーン



[LY] ライトイエロー



[LB] ライトブラウン



[本体 IV × 幅調整材 NGL]



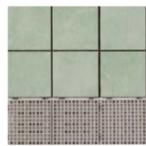
[本体 IV × 幅調整材 SW]



[本体 LG × 幅調整材 NGL]



[本体 LG × 幅調整材 SW]



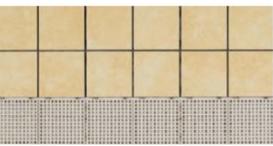
[本体 BG × 幅調整材 NGL]



[本体 BG × 幅調整材 SW]



[本体 LY × 幅調整材 YB]



[本体 LY × 幅調整材 SW]



[本体 LB × 幅調整材 YB]



[本体 LB × 幅調整材 SW]

5色のタイルに合わせて、
3色いずれかのリエナ
ネットを組み合わせます。
右記の推奨組み合わせから
お好みにあわせてお選び
ください。

②出っぱりや排水パイプの納め方

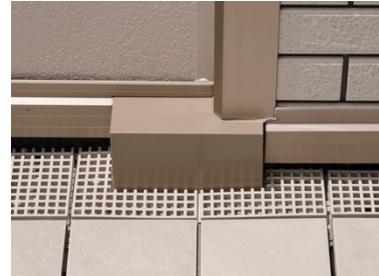
出っぱりや排水パイプのサイズに合わせてリエナネット（幅調整材）をカットすると、すみずみまで美しく仕上げることができます。



出っぱりや排水パイプの周囲にスキマを開ける。



スキマの大きさに合わせて切断した幅調整材を差し込む。



余分なスキマがなくキレイに仕上ります。

◎端部の納め方例



排水パイプのまわり



コーナー部（出隅）

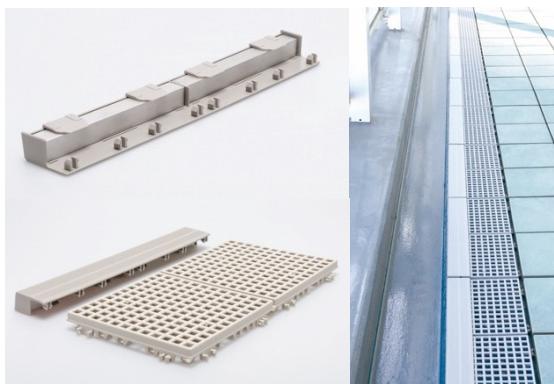


コーナー部（入隅）

6. 耐風対策について

リエナでは、強風によるバルコニータイルの飛散を防ぐ耐風対策部材をご用意しています。安全のため、次ページの設置条件に合わせた、耐風部材施工をおすすめします。

◎標準耐風部材施工



風抜きリエナネット + 錘入り耐風カバーを併用した風飛び対策

◎端部カバー材施工



ブルテープ留めの端部カバー材による風飛び対策

■通常の矩形（長方形）バルコニーの場合

通常の腰壁やパネルで覆われた矩形バルコニーは、**1～10階**までは耐風施工は不要です。
11階以上の場合は、強風によるタイルの飛散を防ぐ端部カバー材を設置してください。

◎通常の矩形バルコニー



■風の影響を受けやすいバルコニーの場合

風の通りやすい下記のような形状のバルコニーの場合、施工方法について
当サイトのお問い合わせフォームからお問い合わせください。

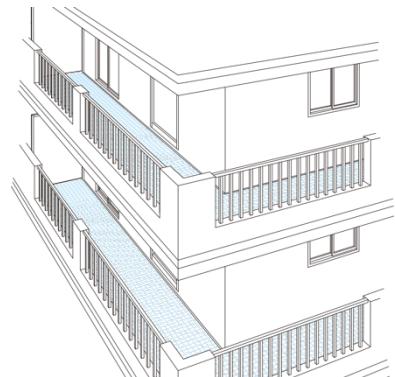
◎ルーフバルコニー



◎格子手すりのバルコニー



◎L字型バルコニー



お問い合わせの際は、お住まいのバルコニーの図面や
写真をお送りいただくと、より詳細なご提案が行えます。

7. 端部カバー材の納め方

①風の吹き込む手すり側に端部カバー材を仮設置し、寸法調整を行います。

②端部カバー材の裏面のテープ剥離紙をはがして、押さえつけて固定します。

③端部カバー材同士を付属のジョイナーで固定し、連結したタイルを端部カバー材に挿入します。

④タイルが端部カバー材から抜けないように付属のタッピングビスで固定してください。

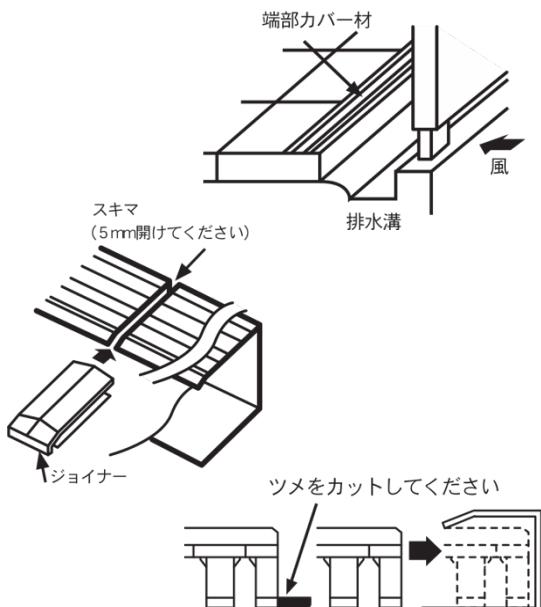
⑤コーナー部分を別売の「出隅材」「入隅材」で納めると、よりすっきりと美しく仕上がります。



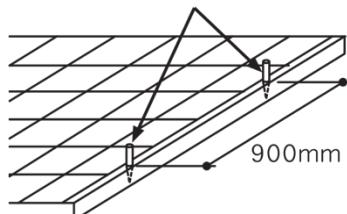
出隅材



入隅材



タッピングビス位置



8. 残材の清掃と点検

施工が終わったら、カットした幅調整材の残材などの片付けを行ってください。
残材が残っていると排水口に詰まって、水が流れなくなる恐れがあります。

最後に、

- ◎しっかり連結できているか
- ◎目地は揃っているか
- ◎必要なスキマを取っているか
- ◎タイル表面に凹凸は無いか
- ◎避難ハッチはきちんと開閉するか

などをチェックしておきましょう。

